

環境マネジメントシステム導入報告書

|   |  |
|---|--|
| ( 宛 先 ) 京 都 市 長                               | 平成 2 5 年 7 月 3 1 日                                     |
| 報告者の住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）<br>京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地 | 報告者の氏名（法人にあつては、名称及び代表者名）<br>国立大学法人京都工芸繊維大学長<br>古 山 正 雄 |

|  |  |
|--|--|
| 京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。        |  |
| 環境マネジメントシステムの名称                        | ISO14001   |
| 適 用 範 囲                                | 松ヶ崎キャンパス、嵯峨キャンパス   |
| 導 入 年 月 日                              | 2003年9月16日   |
| 認 証 番 号                                | JCQA-E-0291  |
| 基 本 方 針                                | 京都工芸繊維大学の教職員と学生は、協力して環境の保全と改善に努め、また、教職員は環境教育を通じて、研究活動はもとより日常生活においても常に環境問題に配慮しながら行動する、「環境マインド」を持った学生を育成し、21世紀の持続可能な発展に貢献する。   |
| 環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。） | エネルギー使用量の削減：2013年度は2010年度比4.5%削減<br>水使用量の管理徹底：2013年度は2012年実績を維持<br>紙使用量削減による省資源：2013年度は2012年度比1%削減<br>化学物質管理の徹底：管理の徹底<br>実験廃液・廃棄物の管理徹底：管理の徹底<br>廃棄物の減量・再利用・再資源化(3R)の推進：管理の徹底<br>高圧ガスの管理徹底：管理の徹底<br>騒音の防止：管理の徹底<br>環境教育・研究の推進：環境マインドの育成<br>グリーン購入の推進：環境マインドの育成<br>キャンパス美化・緑化の推進：環境マインドの育成   |
| 目標を達成するための取組の内容                        | エネルギー使用量の削減：昼休みの一斉消灯、エアコンの設定温度の徹底及び停止時間の設定、高効率照明・省エネ型機器への更新<br>水使用量の管理徹底：年間使用量の把握、節水の掲示<br>紙使用量削減による省資源：年間使用量の把握、ペーパーレス化の推奨<br>化学物質管理の徹底：管理データベースの導入<br>実験廃液・廃棄物の管理徹底：分別収集の徹底<br>廃棄物の減量・再利用・再資源化(3R)の推進：3R活動を推進する<br>高圧ガスの管理徹底：管理データベースの導入<br>騒音の防止：周辺地域住民の迷惑となる騒音を発生させない<br>環境教育・研究の推進：環境関連研究の推進<br>グリーン購入の推進：環境負荷に配慮した物品の調達<br>キャンパス美化・緑化の推進：喫煙対策、構内一斉清掃の実施、キャンパス緑化の推進 |
| 目標を達成するための取組の進捗状況                      | エネルギー使用量の削減：<br>高効率照明・省エネ型機器への更新計画を策定し、平成23年度から順次更新している。   |
| 目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価            | エネルギーについては、基準年度が平成22年度であり、平成24年度は目標値（3%削減）達成は出来た。その他については、計画どおりに取り組むことが出来ている。<br>成果については、年2回マネジメントレビューを実施して報告している。   |
| 事業活動に係る法令の遵守の状況                        | 関連法規の遵守状況について、内部監査及び外部審査で確認を行っている。これまで違反等はなかった。  |
| 環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容                | 評価・見直しの必要性については、毎年3月に委員会を開催し検討している。<br>平成24年度に目的・目標を見直した。  |

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。